さくさん 柞蚕調きしみタッチ織編物「シルドーム」の開発

Development of Wild Silky Fabric. "SILDOME"

宮坂 信義

1. はじめに

当社は、かねてより高付加価値衣料用ポリエステルとしては、最大のターゲットであるシルキー素材の開発に注力しており、これまで数多くの素材を展開してきた。新素材「シルドーム」は、これらの素材群の中でも全く未開発の領域である柞蚕絹(天然の野蚕絹)の特徴である ①強いきしみ感、②強い優雅な光沢感、③軽さと嵩高性、④ハリ・コシと反撥性を有した、新しい感覚のシルキー素材として世界に先駆けて開発に成功したものである。

写真1 「シルドーム」の繊維断面写真

図1 絹の分類と物性

NOBUYOSHI MIYASAKA
帝人株式会社 テキスタイル技術センター
〒567-0006 大阪府茨木市耳原 3-4-1
Tel: 0726-43-1043 Fax: 0726-43-1032
e-mail: n.miyasaka@teijin.co.jp
〈専門〉衣料用新素材の開発およびテキスタイル技術確立
〈趣味〉スポーツ

表1 絹の分類と特徴

区分	特徴	帝人を代表するシルキー素材
家蚕	・人工飼育 ・上品な光沢と適度なきしみ(絹鳴り) ・均整が取れている	ミクセルⅢ (1975年) シャネルビー (1978年) ミクセルⅦ (1979年) シルドール (1989年) レジェールテ-NEO (1998年)
野蚕	・天然で雑木(樺, 柏, 樺)に寄生する ・強い優雅な光沢と強いきしみ ・野趣に富む	「シルドーム(SILDOME)」

2. 商品特徴および技術内容

従来のシルキー素材は、ふくらみ、ソフト感、ドレープ感、光沢感といった家蚕練絹調の特徴を有している。これは世の中のシルク商品の大半が家蚕であることから、必然的にその風合を追求した結果とも考えられるが、柞蚕調の特徴を表現しようにも技術的難易度が高く、これまで不可能であったともいえる。

「シルドーム」は幾多の課題を克服し ①強いきしみ感、②強い優雅な光沢感、③軽さと嵩高性、④ハリ・コシと反撥性といった柞蚕の特徴を高度に融合するべく、特殊ポリマー、特殊異型などに加え、高次加工も含め当社の固有技術を駆使して生まれた新素材である。織物はもちろんのこと、ニットにおいても、これまでループ構造では表現が困難であったシルキー風合い(ふくらみ、光沢、ドレープ性)を発現させることができ、かつ柞蚕絹の特徴も加味することに成功した。

表2 商品特徴と技術内容

商品特徴	技術内容
①強いきしみ感	・楔型異型断面によるシャープエッジ ・糸軸方向の微細多溝 ・特殊ポリマーによる微妙な吸水性
②強い優雅な光沢感	・太単糸 dtex+楔型異型断面により光反射面大⇒強い光沢 ・糸軸方向の微細多溝による光の乱反射⇒優雅な光沢
③軽さと嵩高性	・楔型異型断面により繊維間空隙大 ・中空断面
④ハリ・コシと反撥性	・太単糸 dtex(従来シルキー素材の約2倍) ・繊維間空隙大

3. 今後の展望

今後の婦人服市場は、従来のカジュアル路線からエLEGANCE、フェミニンな傾向にシフトし、シルキー素材の要求が今まで以上に強くなっていくと思われる。この市場要求に対し、2001年春夏より、シャツ、ブラウス、スーツ、

ジャケット、コート、ボトムなど多岐用途へ「シルドーム」を展開している。また、今後は複合による銘柄多様化も積極的に推進し、大型素材として拡充を図りたいと考えている。

膜学実験シリーズ「人工膜編」講習会

主 催：日本膜学会

協 賛：(社)繊維学会ほか

日 時：平成13年12月7日(金) 9:30~17:00

会 場：大阪市立工業研究所 大講堂 大阪市城東区森ノ宮1-6-50

1. (9:30-10:40)高分子多孔膜の製法/京都工芸繊維大学工学部 松山秀人

2. (10:50-12:20)精密ろ過膜の性能評価と膜構造の測定法/富士写真フイルム(株)足柄研究所 大谷純生(交渉中)

3. (13:30-15:20)逆浸透膜および限外ろ過膜の性能評価法/東京大学大学院工学研究科 中尾真一

4. (15:30~17:00)ろ過膜の性能評価と膜電荷の評価法/広島大学工学部 都留稔了

参加申込方法などは下記にお問い合わせ下さい。

日本膜学会事務局

membrane@mua.biglobe.ne.jp

〒113-0033 東京都文京区本郷4-14-9 TEL&FAX:03-3815-2818

第33回洗淨に関するシンポジウム

主 催：日本油化学会 洗淨・洗剤部会

協 賛：(社)繊維学会ほか

日 時：平成13年11月21日(水)~22日(木)

会 場：学術総合センター

一橋記念講堂

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

TEL:03-4212-6000

プログラムおよび参加申込の詳細については下記にお問い合わせ下さい。

ライオン(株) 物質科学センター 米山 雄二

〒132-0035 東京都江戸川区平井7-13-12

TEL:03-3616-3794, FAX:03-3616-5376

第48回界面科学部会秋季セミナー “界面制御と新材料”

主 催：日本油化学会 界面科学部会 共 催：日本油化学会 油脂・合成化学部会

協 賛：(社)繊維学会ほか

会 期：2001年11月15日(木)~16日(金)

会 場：ホテル箱根アカデミー(神奈川県足柄下郡箱根町湖尻160 TEL:0460-4-7811)

申込およびプログラムの詳細は下記にお問い合わせ下さい。

申込締切：10月19日(金)、募集人員：120名(定員になり次第締め切ります)

申込先：〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-11 油脂工業会館

(社)日本油化学会 TEL:03-3271-7463 FAX:03-3271-7464

E-mail: yukagaku@blue.ocn.ne.jp

連絡先：〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7

横浜国立大学大学院環境情報研究院 國枝 博信

TEL&FAX: 045-339-4190 E-mail: kunieda@ynu.ac.jp